

平成28年度

公営企業会計決算資料

産業労働部

項 目 頁

公営企業会計における剰余金の処分および決算状況について

1	損益収支の状況	1
2	今後の経営状況	2
3	事業収益の状況	3
4	事業費用の状況	4
5	企業債残高の推移	5

平成28年度 福井県公営企業会計における剰余金の処分および決算状況について

1 損益収支の状況

平成28年度の公営企業会計については、工業用水道事業会計以下4会計の純利益は合計で11億7,183万8千円となった。

工業用水道事業会計の事業収益は、7億3,238万2千円、事業費用は5億7,909万円となり、純利益は、1億5,329万2千円となった。この純利益については、企業債償還のための財源として減債積立金に3,376万8千円を積み立てるほか、今後の建設改良の財源として建設改良積立金に1億1,952万4千円を積み立てる。

水道用水供給事業会計の事業収益は、34億3,989万6千円、事業費用は26億4,215万9千円となり、純利益は、7億9,773万7千円となった。この純利益については、減債積立金に1億8,708万1千円を積み立てるほか、建設改良積立金に6億1,065万6千円を積み立てる。

臨海工業用地等造成事業会計の事業収益は、3,049万5千円、純利益は、3,049万5千円となった。この純利益は、利益の処分は行わず、翌年度に繰り越すことにより、翌年度繰越利益剰余金は26億1,859万6千円となった。

臨海下水道事業会計の事業収益は、10億4,107万8千円、事業費用は8億5,076万4千円となり、純利益は、1億9,031万4千円となった。この純利益については、建設改良積立金に1億9,031万4千円を積み立てる。

「その他未処分利益剰余金変動額」については、工業用水道事業会計、水道用水供給事業会計および臨海下水道事業会計の全ての会計について全額を資本金に組み入れる。

(単位:千円)

会計		工業用水道事業	水道用水供給事業	臨海工業用地等 造成事業	臨海下水道事業	合計
区分						
事業 収 益	営業収益	689,986	2,898,450	0	738,917	4,327,353
	営業外収益	42,396	541,446	30,495	302,161	916,498
	計	732,382	3,439,896	30,495	1,041,078	5,243,851
事業 費 用	営業費用	574,555	2,440,995	0	849,520	3,865,070
	営業外費用	4,535	201,164	0	1,244	206,943
	計	579,090	2,642,159	0	850,764	4,072,013
純利益		153,292	797,737	30,495	190,314	1,171,838
前年度繰越利益剰余金		0	0	2,588,101	0	2,588,101
その他未処分利益剰余金変動額		220,134	911,009	0	188,345	1,319,488
当年度未処分利益剰余金		373,426	1,708,746	2,618,596	378,659	5,079,427
利益剰余金処分案		373,426	1,708,746	0	378,659	2,460,831
(1) 減債積立金		33,768	187,081	0	0	220,849
(2) 建設改良積立金		119,524	610,656	0	190,314	920,494
(3) 資本金		220,134	911,009	0	188,345	1,319,488
翌年度繰越利益剰余金		0	0	2,618,596	0	2,618,596

2 今後の経営状況

第一工業用水道事業については、契約水量の変動はなく安定した経営状況となっており、今後とも施設の耐震化や更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

臨海工業用水道事業については、契約水量の増加により経営は安定しており、今後とも井戸水源の確保や管路増設、施設の更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

坂井地区水道用水供給事業については、順調な経営状況となっており、今後とも施設の耐震化や更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

日野川地区水道用水供給事業については、全量給水となった平成25年度からは順調な経営状況となっており、平成28年度に累積欠損金を解消した。今後とも施設の更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

臨海工業用地等造成事業については、平成28年度に産業用地を1区画造成し、未売却用地は残り3区画となった。今後とも関係部局と一層の連携を図りながら、早期売却に努めていくとともに、産業用地の拡充について検討を行っていく。

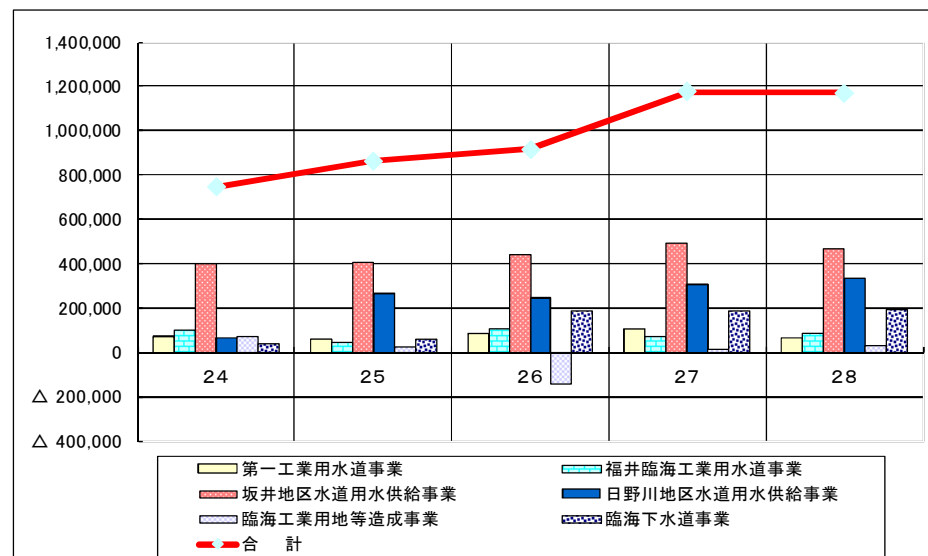
臨海下水道事業については、処理量の増加により経営は安定しており、今後とも施設の耐震化や更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

公 営 企 業 の 純 利 益 の 推 移

(単位:千円)

会 計 \ 年 度	24	25	26	27	28
第一工業用水道事業	72,204	60,109	88,317	101,968	66,792
福井臨海工業用水道事業	98,534	47,563	107,645	72,137	86,500
坂井地区水道用水供給事業	400,864	404,775	436,938	492,180	467,799
日野川地区水道用水供給事業	67,349	263,321	244,544	306,841	329,938
臨海工業用地等造成事業	68,548	26,684	△ 142,902	13,999	30,495
臨海下水道事業	39,820	59,166	182,401	188,345	190,314
合 計	747,319	861,618	916,943	1,175,470	1,171,838

(単位:千円)



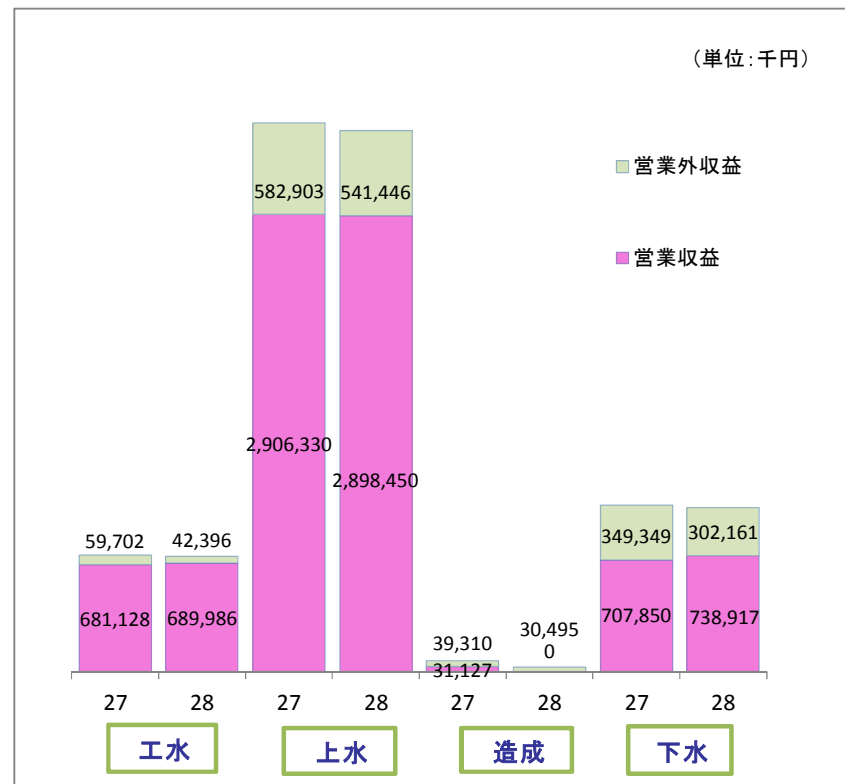
3 事業収益の状況

営業収益は、料金収入や土地売却収入を計上している。平成28年度の営業収益は、4会計合計で43億2,735万3千円となり、前年度に比べ91万8千円増加した。これは主に、臨海下水道事業の下水処理量が増加したことによるものである。

営業外収益は、受取利息や補助金等を計上している。平成28年度の営業外収益は、4会計合計で9億1,649万8千円となり、前年度に比べ、1億1,476万6千円減少した。これは主に、水道用水供給事業と臨海下水道事業の長期前受金戻入益が減少したことによるものである。

(単位:千円、%)

区 分		年 度		対前年度比	
		28	27	増減額	増減率
工水	営業収益	689,986	681,128	8,858	1.3
	営業外収益	42,396	59,702	△ 17,306	△ 29.0
	合計	732,382	740,830	△ 8,448	△ 1.1
上水	営業収益	2,898,450	2,906,330	△ 7,880	△ 0.3
	営業外収益	541,446	582,903	△ 41,457	△ 7.1
	合計	3,439,896	3,489,233	△ 49,337	△ 1.4
造成	営業収益	0	31,127	△ 31,127	皆減
	営業外収益	30,495	39,310	△ 8,815	△ 22.4
	合計	30,495	70,437	△ 39,942	△ 56.7
下水	営業収益	738,917	707,850	31,067	4.4
	営業外収益	302,161	349,349	△ 47,188	△ 13.5
	合計	1,041,078	1,057,199	△ 16,121	△ 1.5
合計	営業収益	4,327,353	4,326,435	918	0.0
	営業外収益	916,498	1,031,264	△ 114,766	△ 11.1
	合計	5,243,851	5,357,699	△ 113,848	△ 2.1



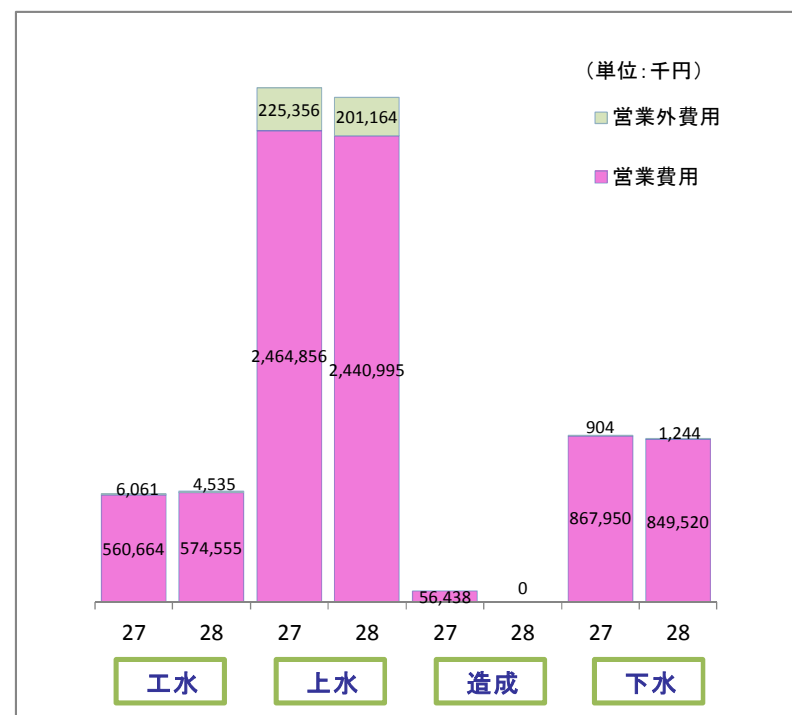
4 事業費用の状況

営業費用は、管理運営費や減価償却費、土地売却原価を計上している。平成28年度の営業費用は、4会計合計で38億6,507万円となり、前年度に比べ8,483万8千円減少した。これは主に、水道用水供給事業の減価償却費の減少によるものと、臨海工業用地等造成事業の土地売却原価の減少によるものである。

営業外費用は、主に企業債の支払利息を計上している。平成28年度の営業外費用は、4会計合計で2億694万3千円となり、前年度に比べ2,537万8千円減少した。これは、主に水道用水供給事業の支払利息の減少によるものである。

(単位:千円、%)

区 分		年 度		対前年度比	
		28	27	増減額	増減率
工水	営業費用	574,555	560,664	13,891	2.5
	営業外費用	4,535	6,061	△ 1,526	△ 25.2
	合計	579,090	566,725	12,365	2.2
上水	営業費用	2,440,995	2,464,856	△ 23,861	△ 1.0
	営業外費用	201,164	225,356	△ 24,192	△ 10.7
	合計	2,642,159	2,690,212	△ 48,053	△ 1.8
造成	営業費用	0	56,438	△ 56,438	皆減
	営業外費用	0	0	0	0.0
	合計	0	56,438	△ 56,438	皆減
下水	営業費用	849,520	867,950	△ 18,430	△ 2.1
	営業外費用	1,244	904	340	37.6
	合計	850,764	868,854	△ 18,090	△ 2.1
合計	営業費用	3,865,070	3,949,908	△ 84,838	△ 2.1
	営業外費用	206,943	232,321	△ 25,378	△ 10.9
	合計	4,072,013	4,182,229	△ 110,216	△ 2.6



5 企業債残高の推移

企業債残高は年々減少しており、平成28年度末は、工業用水道事業の7,518万2千円、水道用水供給事業計の86億140万8千円の合計86億7,659万円となった。

(単位:千円)

会計	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
工水	企業債残高	196,290	167,987	138,407	107,492	75,182
	新規借入額	0	0	0	0	0
	償還額	27,081	28,303	29,580	30,915	32,310
上水	企業債残高	11,607,383	10,832,021	10,029,482	9,276,187	8,601,408
	新規借入額	0	0	0	0	0
	償還額	728,707	775,362	802,539	753,295	674,779
合計	企業債残高	11,803,673	11,000,008	10,167,889	9,383,679	8,676,590
	新規借入額	0	0	0	0	0
	償還額	755,788	803,665	832,119	784,210	707,089

